

■ 編集方針

当社は平成16年より「環境報告書」を、平成19年からは情報開示項目を広げた「CSR報告書」を発行してきました。今年で5回目の発行となる報告書も、これまで同様にステークホルダー別に情報を開示し、またステークホルダーダイアログなどを通して、外部からの客観的な意見を取り入れることでより精査・改良し、新しい情報を優先的に掲載しました。

さらに平成23年より、京阪電車開業101年目がスタートしました。

これまでの100年のご愛顧に感謝するとともに、いま一度「安全で安心な鉄道」として社会に貢献するという新たな100年への決意として、特集テーマを「新たな100年につながる安全への取り組み」としました。

なお、本報告書は鉄道事業法により公表を義務づけられている「安全報告書」も兼ねており、安全に関する情報も充実させました。

■ 報告対象範囲

京阪電気鉄道株式会社の事業活動を報告対象としています。

※環境負荷データ・環境会計データは当社および株式会社京阪ビジネスマネジメント、株式会社京阪ステーションマネジメントを対象としています。

※一部のグループ会社のCSR活動も紹介しています。

■ 報告対象期間

平成22年度（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

※一部に平成22年度以前、22年度以降の取り組みを含んでいます。

■ 参考にしたガイドライン

- 環境報告ガイドライン（2007年度版）
- 環境会計ガイドライン（2005年度版）
- 民鉄事業環境会計ガイドライン（2008年度版）

■ 発行日

平成23年8月

■ 次回発行予定

平成24年8月

■ お問い合わせ先

京阪電気鉄道株式会社
経営統括室 経営政策担当 CSR報告書作成事務局

TEL:06-6944-2529 FAX:06-6944-2584

CSRとは >>>

「Corporate Social Responsibility」の略で、

「企業の社会的責任」という意味です。

企業の不祥事が多発する中、企業が顧客、地域社会、株主、従業員、地球環境など、周囲をとりまく利害関係者（ステークホルダー）とどう向き合っていくのか、ということが課題となっています。

CSR報告書は、企業のステークホルダーとのかかわりを

開示することで、取り組みをご理解いただくとともに、

自社の活動を検証するためのものです。

CONTENTS

京阪電気鉄道株式会社 会社概要／京阪グループの概要	2
編集方針／CONTENTS	3
■ トップコミットメント	4
■ 特集	6
京阪グループのCSR	
京阪グループのCSRへの考え方	8
京阪グループの経営理念体系／経営理念／経営姿勢	
経営ビジョン「“選ばれる京阪”への挑戦」／行動憲章	9
コーポレートガバナンス	10
CSR推進体制	11
経営理念の浸透／当社とステークホルダー	12
ブランドコンセプト	13
安全への取り組み [安全報告書]	
安全基本方針／安全管理体制	15
事故等の発生状況／安全投資	17
安全重点施策	18
安全対策:人材	20
技術の継承	22
安全対策:運行管理	23
安全対策:車両	24
安全対策:駅／安全対策:併用軌道	25
安全対策:踏切	26
その他の安全対策／自然災害対策	27
訓練	28
京阪電車からのご願い／安全への取り組み [安全報告書] へのご意見など	29
社会への取り組み	
■ お客さま満足のために	
お客さまの声に応えて	31
よりやさしく便利な駅を目指して	32
バリアフリー化の取り組み	33
快適・安心を目指して／お客さまとのコミュニケーション	34
■ 株主・投資家のために	
情報開示とコミュニケーション／インサイダー取引の防止 株主総会／SRIインデックスへの選定	35
■ 地域社会のために	
明日を担う世代のために	36
地域社会とのコミュニケーション	37
■ 従業員のために	
働きやすくやりがいのある職場づくり	38
安全衛生に関する取り組み	39
環境への取り組み	
環境理念／環境方針／環境理念・環境方針の浸透	41
環境マネジメント／京阪グループの環境マネジメント	42
環境負荷低減の目標と実績	43
事業活動に伴う環境負荷（マテリアルバランス）	44
環境会計	45
地球温暖化防止の取り組み（鉄道電力の削減）	46
地球温暖化防止の取り組み（公共交通利用促進）	47
騒音振動低減の取り組み	48
リサイクルの取り組み／オフィスでの取り組み／大津線での取り組み	49
美化推進の取り組み／不動産事業での「共育（ともいく）」	50
私たちが環境活動に取り組んでいます 株式会社琵琶湖ホテルでの「山野草プロジェクト」	51
■ 第三者意見／第三者意見を受けて	52
京阪電車沿線案内図／京阪グループネットワーク	53